

平成17年9月中間期 会社説明資料

平成17年11月



GOYO INTEX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

平成17年9月現在

商号 五洋インテックス株式会社

本社 愛知県小牧市小木五丁目411番地

代表者 代表取締役社長 大脇 秀五

設立 昭和54年3月30日

資本金 656百万円

売上高 812百万円

従業員 50人

昭和54年3月	現代表取締役社長 大脇秀五が愛知県一宮市せんい4丁目に室内装飾用織物等の製造販売を目的として、五洋産業株式会社（資本金30,000千円）を設立し、「サザンクロス」ブランドのカーテンを販売する。
昭和54年6月	株式会社豊産業（現 株式会社イフ、現連結子会社）を設立する。
昭和58年3月	「インハウス」ブランドのカーテンを発表する。
昭和58年9月	「リサ」ブランドのカーテンを発表する。
昭和62年5月	業容の拡大に伴い愛知県小牧市大字三ツ淵字惣作1350番地に本店を移転する。
昭和63年1月	株式会社インハウスに資本参加し子会社とする。
平成4年4月	新社屋完成に伴い愛知県小牧市小木五丁目411番地に本店を移転する。
平成5年4月	五洋インテックス株式会社に商号変更し、株式会社インハウス（出資比率100%）を吸収合併する。
平成8年2月	株式会社イフ、小売業務を開始する。
平成8年10月	日本証券業協会に店頭登録する。
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、株式会社ジャスタック証券取引所に株式を上場する。

当社グループは、当社及び連結子会社 1 社で構成され、室内装飾品の販売を主な事業内容とし、カーテンを中心に販売を行っております。

<当社の代表的なブランド>



IN HOUSE[®]
FABRICS & DESIGN

「インハウス」

個性的で豊かなデザインの輸入商品をコレクションした、
当社の代表的なブランド



「サザンクロス」

機能性を生かしたホームユースをテーマに開発した
ブランド



Blownew[®]

「ブローニュ」

住空間をトータルコーディネートできるアクセサリーズの
ブランド

平成17年9月中間期 決算概要



GOYO INTEX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

当カーテン業界におきましては、住宅着工戸数は前年同期比3.5%増となっておりますが、マンション物件の増加が大きく、持家住宅着工数は前年同期比7.4%減となり、一戸当たりの窓数の減少に加え、消費者におけるカーテン購入予算が減少している為、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは価格から品質、デザインに至るまで多種多様に流通するカーテン市場におきまして、差別化とブランドの商品力を高めることに注力し、6月にメインブランドの1つであります「サザンクロス」の新見本帳を公表致しました。しかしながら、販売先と販売価格面での交渉が予定以上に長引いたこと等が影響し、売上高は大幅に減少致しました。経費面におきましては、効率化と節約に努め、見本帳発刊に伴う費用が前年同中間期に比べ増加したにもかかわらず、1百万円増に留まりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同中間期比18.2%減の812百万円、経常損失は115百万円（前中間連結会計期間は7百万円の経常利益）、中間純損失は120百万円（前中間連結会計期間は2百万円の中間純利益）となりました。

損益計算書（連結）

(単位：百万円)	17年9月中間期	16年9月中間期	前期比増減率
売上高	812	994	-18.2%
売上原価	336	390	-13.9%
一般管理費	596	594	0.2%
営業利益	-119	8	—
営業外収益	5	4	14.6%
営業外費用	1	6	-75.5%
経常利益	-115	7	—
特別利益	1	1	10.8%
特別損失	1	0	—
中間（当期）純利益	-120	2	—

(注) 前期比増減率は円単位で計算して表示しております。

貸借対照表（連結）

(単位：百万円)	17年9月中間期	16年9月中間期	前期比増減率
流動資産	1,161	1,333	-12.9%
固定資産	1,520	1,465	3.8%
資産合計	2,682	2,799	-4.2%

流動負債	409	527	-22.4%
固定負債	218	216	0.7%
負債合計	627	744	-15.7%

資本金	656	656	—
資本剰余金	852	852	—
利益剰余金	512	530	-3.3%
資本合計	2,054	2,054	—

(注) 前期比増減率は円単位で計算して表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位：百万円)	17年9月中間期	16年9月中間期	比較増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	13	153	△ 139	減価償却費41百万円、売上債権の減少による増加額210百万円の収入、税金等調整前中間純損失115百万円、仕入債務の減少による減少額90百万円の支出。
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 46	△ 38	△ 7	有価固定資産の取得による支出39百万円の支出。
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 20	△ 20	0	配当金20百万円の支払額。
現金及び現金同等物の 増減額	△ 52	94	△ 147	
現金及び現金同等物の 期首残高	483	114	368	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	430	208	221	

(注) 比較増減額は円単位で計算して表示しております。

商品別売上高

(単位：百万円)

セグメント	17年9月中間期		16年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
生地	262	32.3%	339	34.2%	-76	-22.6%
縫製品	430	52.9%	546	55.0%	-116	-21.3%
その他	120	14.8%	107	10.8%	12	11.3%
合計	812	100.0%	994	100.0%	-181	-18.2%

平成18年3月期 業績予想



GYO INTX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

業績予想（連結）

(単位：百万円)	18年3月期予想	17年3月期実績	前期比増減率
売上高	2,000	2,158	-7.4%
経常利益	10	149	-93.3%
当期純利益	-5	128	—
EPS（円）	-1.24	31.09	—
ROE（%）	—	6.0%	—

（注）前期比増減率は円単位で計算して表示しております。

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

住宅建設は底堅く推移するものと思われ、首都圏を中心にマンション物件への販売が見込まれることや、新作「サザンクロス」見本帳の取引先への浸透による売上増が見込まれますが、中間期の落ち込みを回復するまでには厳しいと思われ、当期純損失は5百万円の見込みであります。

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

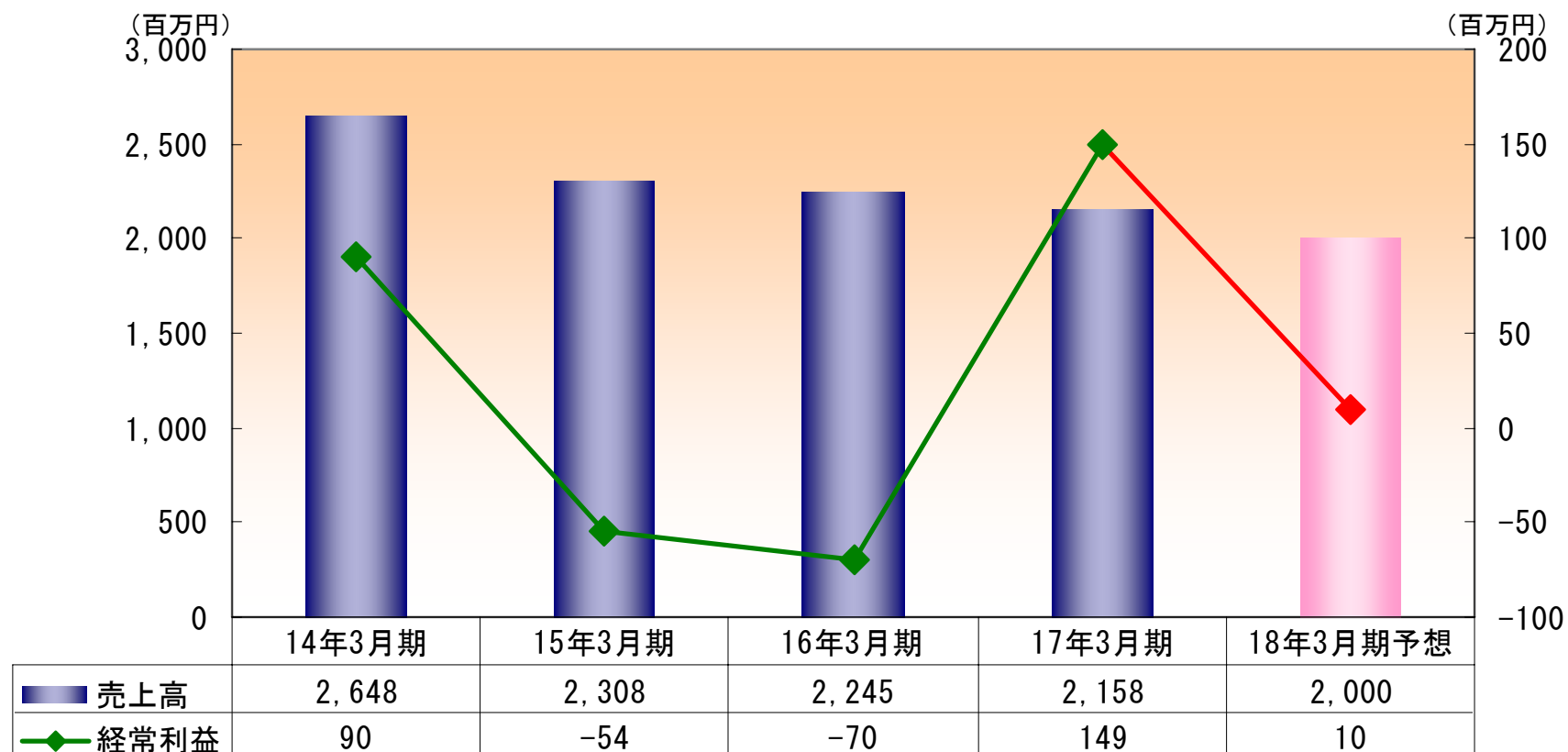
経営方針

当社の社是は「至誠」であり、「生活者の住空間を創造し社会に奉仕する」を社訓にしております。これを基本に常に本物を追求し、また、新しいインテリア文化を築くため、将来に向かって限りなく努力する所存でございます。

今期の取り組み

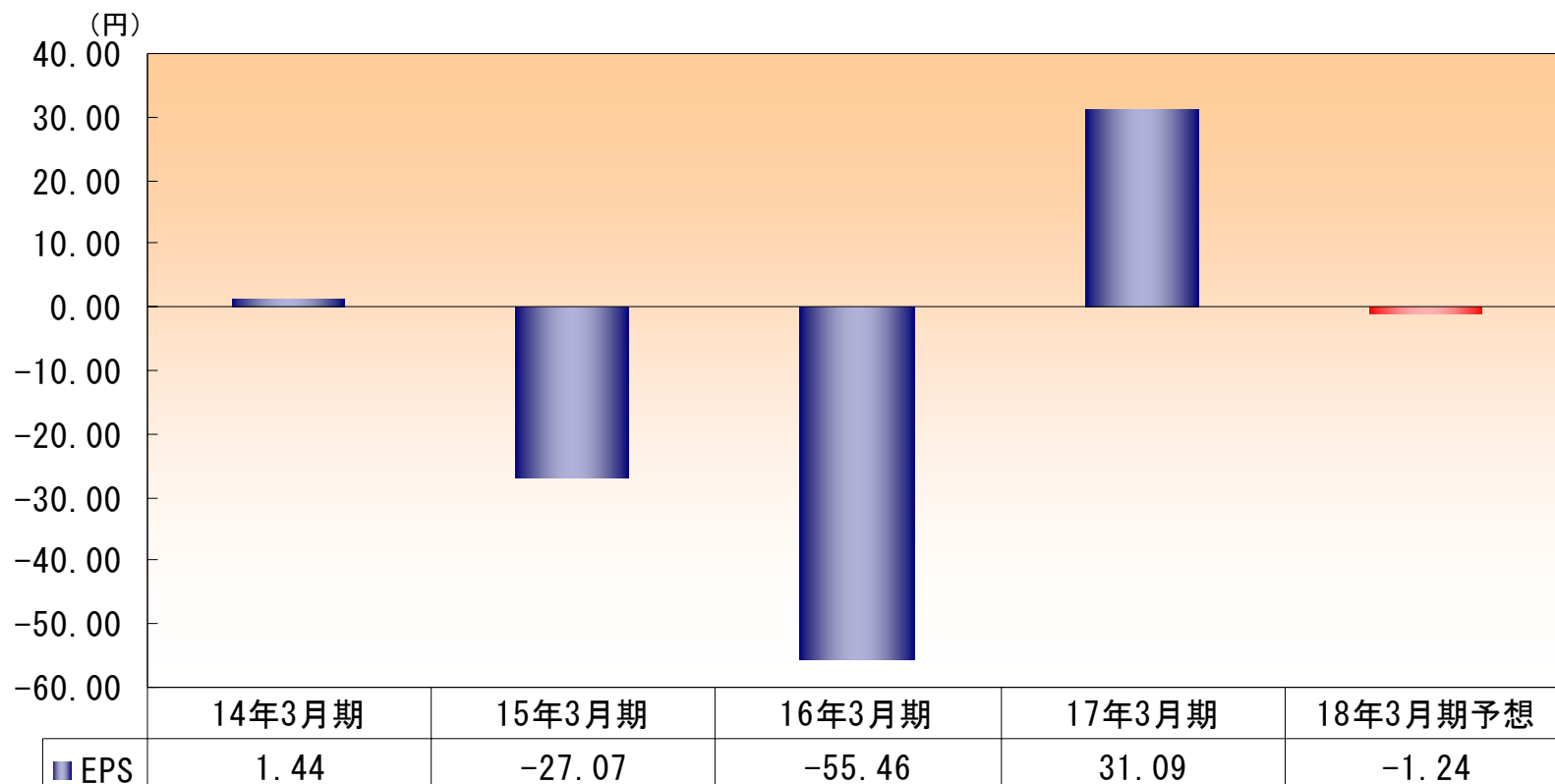
豊富なカーテンが流出する時代の中、高クオリティと機能性を重視し、多様化する消費ニーズを捕らえ、オリジナル性を追及した商品開発に今後も取り組んでまいります。また、連結対象会社でありますインテリア専門店を運営する株式会社イフでは、長期間限定される見本帳商品以外に、常に新鮮な商品を提案し、新しい顧客の獲得に取り組んでまいります。

売上高・経常利益の推移（連結）



上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPSの推移（連結）



EPS=1株当たり当期純利益

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



GOYOINTEX

五洋インテックス株式会社 経営企画室

TEL : 0568-76-1050
E-mail : info@goyointex.co.jp